

令和2年4月14日 金路新聞

マスクと消毒液無償供給

白糠町コロナ対策で全町民に

【白糠】町は13日、新型コロナウイルス対策として、全町民7689人にマスク5枚と消毒用の次亜塩素酸水を無償で供給すると発表しました。

13日の町議会全員協議会に諮り、承認された。予算は250万円で、3月30日付で専決処分した。マスクは使い捨てタイプを1人5枚ずつ、町内で使える5000円相当の商品券「元気//しらぬか応援券」と合わせて、20日に全4097世帯に郵送する。



町職員によるマスクの発送準備が進む

次亜塩素酸水は20リタンクを町役場、町温水プール、

町社会福祉センター、庶路町民センター、西馬路コミユニティセンターの5カ所に設置。ペットボトルなどの容器を持参して持ち帰る。供給は27日から、休館口を除く5月17日まで。5月18～29日は町役場で供給する。

町保健福祉部の二色郁子介護健康課長は「現時点では町内で感染者は発生していないが、決して安心することなく、自分でできる予防に努めてほしい」と呼び掛ける。柵野孝夫町長は「町民の命と健康を守るため、速やかに対応していく」と話していた。

(水谷友路)